

「いのちの大切さ、人をおもいやる心・・・ 歌に想いをのせて、歌ってみませんか？」

京都府の人権啓発イメージソングに「世界がひとつの家族のよう
に」という歌があります。

この歌は、多年にわたる自由や正義・平和への願いが反映され
た、「世界人権宣言」の65周年の節目となった2013（平成
25）年、世の中から差別や偏見をなくしていく活動に取り組ん
でいる「京都人権啓発推進会議」で、制作された歌です。

身近なところから人権について考えるこの歌を一人でも多くの
人の心へ届けること。そして、より多くの方々に歌ってもらうこ
と。さらに、その輪が京都でふくらみ、全国へ広がっていくこと
を作詞家の鮎川めぐみさん・作曲家の千住明さんは願っているそ
うです。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントな
どの活動が難しいため、京都府の各地へ出向き、その町のPRを
兼ねて、イメージソング広め隊活動の撮影をし、その動画を公開
します。そして、先日、歌手X+（エクスト）さんと作詞家・鮎
川めぐみさんが和束町石寺地区にあるdandancafeさんを訪れ撮影
が行われました。



この動画はインターネット・スマートフォンか
ら視聴できます。「京都人権ナビ」（人権ポ
ータルサイト）と検索して下さい。



第223号

2020年10月1日発行

編集・発行

和束町人権啓発課

（人権ふれあいセンター内）

TEL0774-78-3488

FAX0774-78-3212



世界がひとつの家族のように

作詞：鮎川めぐみ 作曲：千住明

1 悲しいニュースを聴くたびに どうしてなのかと考える

何かが出来るわけじゃない だけど心は動いてる

空に星がきれいだね 風に花が揺れているね

世界がひとつの家族のように

もしもなれたらどうだろう もっと知りたくなるだろう

遠くに暮らす君のこと

2 あたりまえに過ぎる景色が 幸せなんだと気付く時

昨日より今日少しいだけ 優しくなれる気がするよ

響き合える果てしなく 目に映るすべてのいのち

世界がひとつの家族のように

もしもなれたらどうだろう

毎日出会う君のこと もっと大事になるだろう

3 空に星がきれいだね 風に花が揺れているね

世界がひとつの家族のように

もしもなれたら素敵だね

今この時を生きている 同じ名前の上



みんなで築こう 人権のまちづくり



STOP!
コロナ差別

#正しい理解を
#差別はやめよう



新型コロナウイルスの感染が広がり、全国的に、誤解や偏見による、感染者や医療関係者、その家族やお店などへのいじめや誹謗中傷が増加しています。新型コロナウイルス感染症は、誰にでも感染してしまう可能性があります。差別や偏見、いじめ、SNSへの心ない書き込みなどは絶対に許されることではありません。

**恐るべき相手は人ではなく
ウイルスです！**

コロナによって人間性が奪われることがないように私たち一人ひとりがお互いの立場に立ち、思いやりの心をもって、支えあいながら人権に配慮した冷静な行動をとっていただくようお願いいたします。



人権の花運動



人権の花運動は、1982（昭和57）年から全国で展開されており、子どもたちが協力しながら花を育てることを通じて、助け合い協力すること、感謝することの大切さを学び、豊かな人権感覚を育み、命の尊さや、相手への思いやりなどの人権感覚を身につけてもらおうとするものです。また、人権について考える機会としてもらおうと、法務省と、全国人権擁護委員連合会が進めている取り組みです。10月12日（月）和束小学校、和束保育園でも行う予定です。

京都府の人権の花、水仙には尊敬や思いやりという花言葉があるので、子どもたちも愛情や思いやりを忘れずみんなで仲良く育ててほしいと思います。



人権問題でお困りの方

法務大臣から委嘱された人権擁護委員さんが相談に応じます。相談は無料で秘密は固く守られますので、お気軽にご相談下さい。

10月の相談日

●月日：10月27日（火）

●時間：午後1時半～4時まで

●場所：人権ふれあいセンター

また、人権啓発課（人権ふれあいセンター内）でも人権に関わる相談を随時行っておりましてので、お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先
人権啓発課

（人権ふれあいセンター内）

TEL 78-3488
FAX 78-3212